

2026年8月17日作成 Ver.1.3

《情報公開文書》

ANCA 関連血管炎における
血清中免疫複合体のサイズと病態関連抗原の解析

研究の概要

【背景】抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎（AAV）は、全身の臓器病変を伴う指定難病の自己免疫疾患です。従来、AAV は血管壁などに免疫複合体（IC）の沈着がほとんど見られない「乏免疫性」の血管炎と定義されてきましたが、近年の研究では患者の半数以上に IC の沈着が確認されており、これが病態を悪化させている可能性が示唆されています。また、補体系の活性化も重要な役割を果たしていますが、IC が関与する「古典経路」の関連については十分に解明されていません。

【目的】研究の目的は、独自開発した「イムノコンプレキソーム解析法」により得られた網羅的データを用い、AAV 患者における IC のサイズ特性およびその構成抗原を明らかにすることです。

【意義】IC のサイズや構成抗原を特定することで、従来の概念を超えた新たな病態メカニズムの解明が期待されます。これにより、疾患の層別化や補体標的治療の最適化など、より精緻な治療戦略の構築に貢献することを目指します。

【方法】前研究で得られた AAV 患者さん、他の自己免疫疾患の患者さん、および健康な方のデータ（抗原タンパク質の網羅的解析、IC 定量値、サイズ分布）と臨床検査データを用いて比較解析を行います。

対象となる患者さん

「自己免疫疾患における免疫複合体研究」（長崎大学病院臨床研究倫理委員会許可番号 24101007）の研究対象となった以下の皆様：ANCA 関連血管炎、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎・皮膚筋炎、原発性胆汁性胆管炎、関節リウマチ、全身性強皮症、IgG4 関連疾患の患者さん、健康な方

研究に用いる試料・情報

●研究に用いる情報

前研究で収集済みの下記の情報を使用します。

診療録の基本情報（性別、年齢、既往歴、薬剤歴、家族歴）、症状、検査所見（血算、血液分画、血液像、凝固系、AST、ALT、Bil、GTP、BUN、CK、Alb、GFR、Col、TG、Na、K、Cl、Ca、BS、HCO₃⁻、アンモニアなど）、治療情報（治療薬）、発病年月、合併症、IgG、IgM、IgA、IgE、CRP、C3、C4、CH50、白血球、血小板、PR3-ANCA、MPO-ANCA、抗GBM抗体、cryoglobulin、抗C1q抗体、IgA IC、血管炎の分類、症状、臓器障害の有無
また、前研究で取得された免疫複合体の網羅的解析データ（抗原情報、量、サイズ分布）を使用します。

※本研究で新たに試料（血液等）の取得は行いません。本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

本研究で使用する情報は、個人を特定できないように匿名化されており、特定の個人を識別することはできません。そのため、この研究に使われたくないと申し出られた方を対象者から外することができません。あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2030年3月31日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 薬剤部 氏名：大山 要 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7245
試料・情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究内容に関する問い合わせ】

長崎大学病院 薬剤部 大山 要
 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号
 電話：095（819）7245 FAX 095（819）7251

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200
 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）